

M04b ひのでQLムービー作成システムの構築

殿岡 英顕、下条 圭美、常田 佐久、末松 芳法、一本 潔、勝川 行雄、鹿野良平、渡邊 鉄哉、原 弘久 (国立天文台)、清水 敏文、坂尾太郎 (JAXA)、永田伸一 (京都大学)、ひのでチーム

2006年9月23日に打ち上げられた太陽観測衛星「ひので」は順調に観測をつづけ、日々良質な画像データを大量に取得している。太陽観測では、現象をムービー化して吟味することが極めて重要であり、ムービーにより、スナップショット画像の比較では捉えられないダイナミックな現象が数々発見されている。ひのでは、ようこうなどと比べてデータ量が非常に多くなることを考慮して、大量のデータをより簡単に確認する(クイックルック:QL)のために、全自動で観測データをMPEGムービーにして、それをウェブで公開するシステムを構築した。

このシステムでは(1)観測データをJAXA/ISASのアーカイブよりVLANを用いたNFSで参照し、(2)国立天文台SOLAR-B推進室の計算機によりMPEG-1ムービーを作成し、(3)それをウェブによりアクセス可能にするものである。これは人手を介さずに毎日自動で行なわれる。

現在はコアチームメンバー向けに公開を行なっているが、観測データの一般への公開開始と共にこれらムービーも国立天文台ひのでウェブサイトから取得可能にする予定である。また、現在はMPEG-1にてムービーを作成しているが、近日中にMPEG-2に変更し、更には同時刻で異なる波長の観測ムービーをマルチアングルのDVDにして配付する計画である。これにより、すべての観測データをムービーによりブラウズできるようになり、重要な現象が発見されずに終わることを防ぐことができる。

本ポスター展示では、そのシステムの概要を紹介し、あわせてパソコンでムービーのデモンストレーションを行なう。